

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和6年1～3月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	61事業所
3. 回答率	48.8%
4. 業種別内訳	
製造業	12事業所
建設業	4事業所
卸売業	3事業所
小売業	22事業所
サービス業	20事業所
合計	61事業所

5. 実施時期

令和6年 4月下旬～6月上旬

6. 調査対象期間

令和6年 1月から3月（第4四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

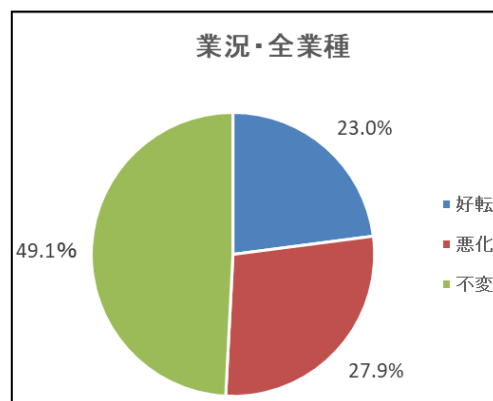
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和5年1月～3月）のD I値は▲4.9ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は23.0%、悪化したと回答した事業所が27.9%、変わらないと回答した事業所は49.1%だった。



令和5年1～3月の前年同期比について、コロナ禍からの回復が見られる一方で、円安や原材料高騰による利益圧迫の影響もあり、事業所によって業績にばらつきが見られる。

仕入価格の上昇に関するコメントが多く、価格転嫁等の対応を行う一方で、消費者の来店サイクルの延長や安価なサービスの利用などの消費動向に変化が生じている。

また、人手不足による売上への影響についてのコメントもあり、人材確保を課題としている事業所もあった。

	R5. 1～3 前年同期比	R5. 10～12 前期比	R6. 4～6 見通し
全業種	▲4.9	▲16.4	▲13.1
製造業	41.7	25.0	16.7
建設業	▲25.0	▲25.0	0.0
卸売業	▲33.3	▲33.3	▲33.3
小売業	▲50.0	▲36.4	▲27.3
サービス業	25.0	▲15.0	▲15.0

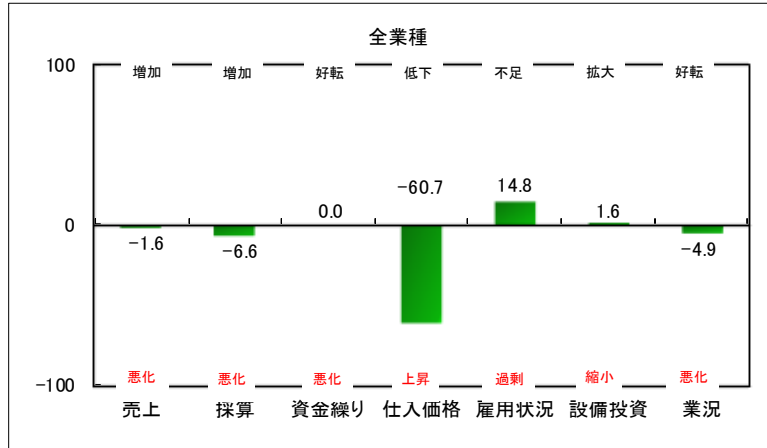
来期見通し（令和6年1～3月）のD I値については、▲13.1ポイント。

製造業のみ好転の見込み。夏からの繁忙期に向けた売上増加を見込む意見が多かった。しかし、原材料の高騰が止まらないことや人手不足による受注数減少を懸念する声もあった。

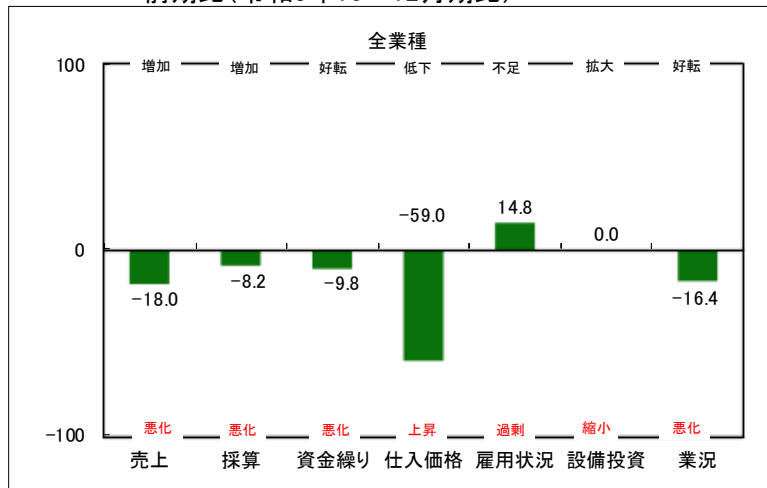
市内景気動向

全業種

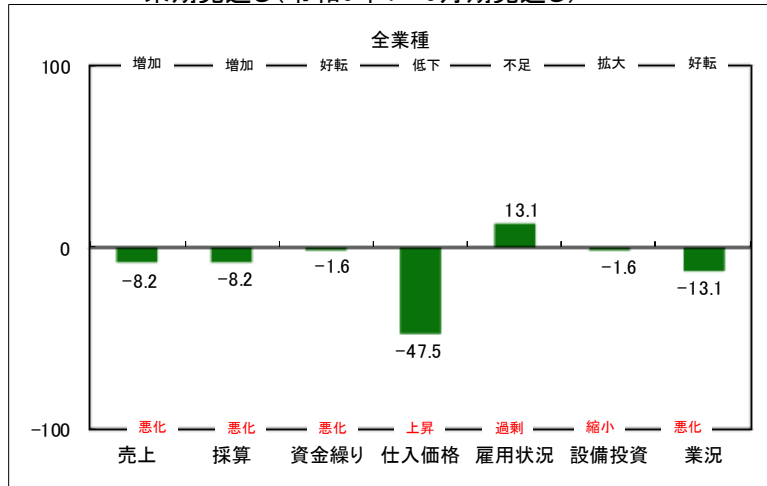
前年同期比(令和5年1~3月期比)



前期比(令和5年10~12月期比)



来期見通し(令和6年4~6月期見通し)

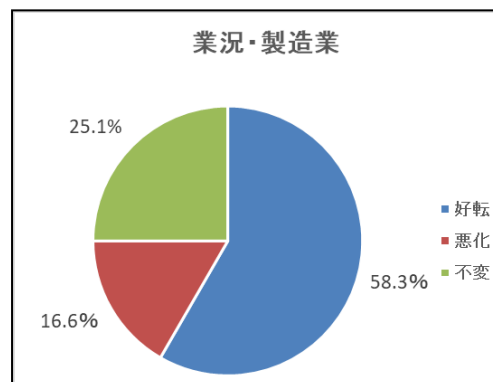


2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が41.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、58.3%、
悪化したと回答した事業所が16.6%、
変わらないと回答した事業所が25.1%だった。

来期見通しD I 値については16.7ポイントで、
好転の見通しとなっている。



○主な意見

【金属研磨業】

- ・「昨年秋頃より、メインユーザーからの受注が減少しており、復帰の目途がたっていない。」

【金属加工業】

- ・「コロナ明けの飛び込み需要が落ち着いてきた感じがする。」

【食品製造業】

- ・「原材料の仕入価格高騰が止まらないので先が読めない状況。」

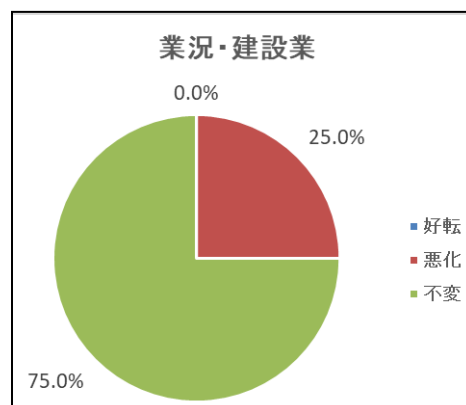
【半導体製造装置用部品加工業】

- ・「半導体関係の売上が極端に減少したままであり、まだ改善の予測がつかないため」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲25.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所は25.0%、
変わらないと回答した事業所は75.0%だった。

来期見通しのD I 値は、0.0ポイントで、不変の見通しとなっている。



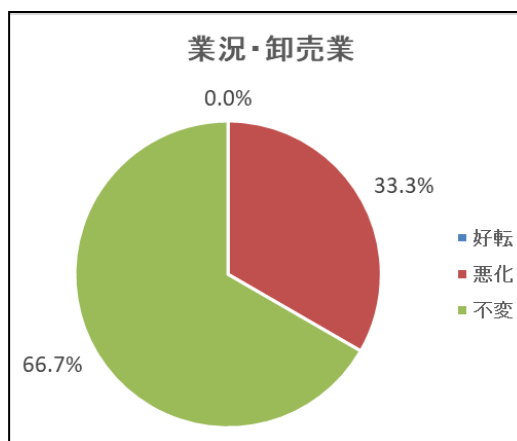
【電気工事通信業】

- ・「売上増加に伴い法人成りを行い新規雇用、設備投資を行った。住宅工事の受注等が少しずつ増えてきているが、原材料高などもあり業況はあまり変わらない」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所が33.3%、
変わらないと回答した事業所66.7%だった。

来期の見通しD I 値は、▲33.3ポイントで、
不変の見通しとなっている。



○主な意見

【事務用品・機器販売業】

・「官公庁・一般企業とも前年に比べ受注が減少。」

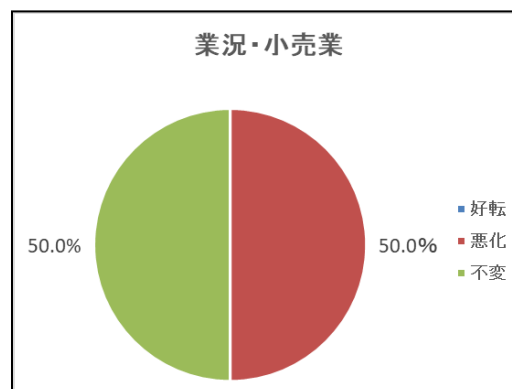
【木材卸売業】

・「3月末完成工事の売上で増加。当社受注工事も完成し、売上利益ともに上昇した。また、
来期の受注見通しも確定しており売上増の見込み」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲50.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所は50.0%、
変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲27.3ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【生花業】

・「年齢・体力面で年々厳しくなっており、受注量を減らした事で売上は減少した。」

【家電小売業】

・「原材料の価格が高騰し、全般的に仕入れの金額は上昇している。お客様も理解はしてくださっているもののお財布のひもを緩めて頂くのはなかなか厳しい。」

【飲食業】

・「原材料、光熱費などが高騰し続けている、売り上げはほとんど税金の支払いで、価格値上げも慎重に行わないと来店されるお客様が減るので、様子を見ている状況。」

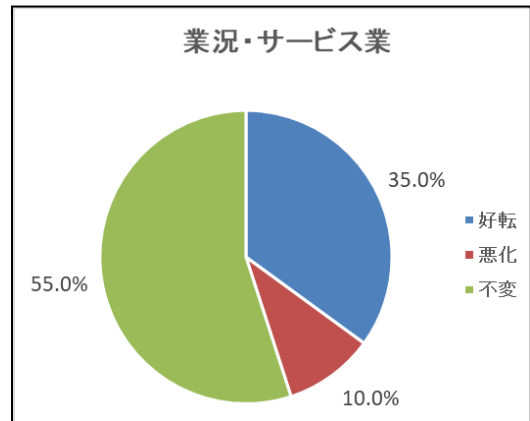
【自動車小売業】

・「令和6年になって、5カ月目ですが、令和5年よりお客様が安い車検を求める方が増えたように思います。また今の車は性能が良い為、代替が少なくなった。」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が25.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は35.0%、
悪化したと回答した事業所は10.0%、
変わらないと回答した事業所は55.0%だった。

来期見通しD I 値は、▲15.0ポイントで、悪化
の見通しとなっている。



○主な意見

【美容業】

・「前年同期より売上が増加した。ただ仕入れ価格の上昇により好転も軽微のような状況。」

【美容エステ業】

・「売上は変わらないのに仕入価格、光熱費が上昇した為、採算が悪化。」

【美容サロン業】

・「税金の増加や支払いの増加で今から頭が痛いところですが、新しい事をする予定で準備しているので乗り越えられるように頑張っていきたい。」

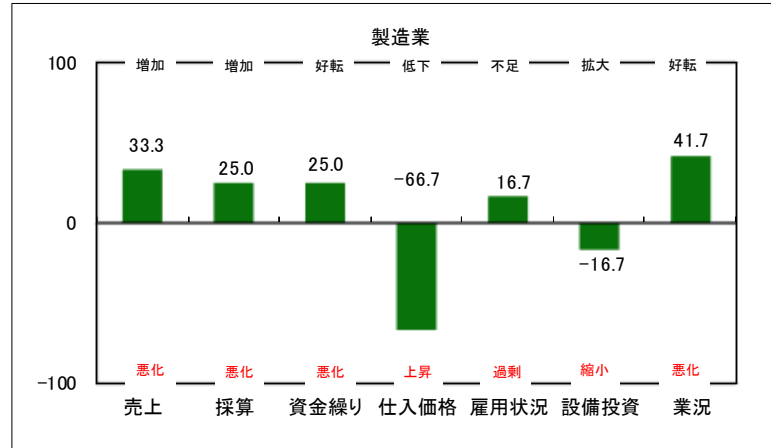
【衣服裁縫修理業】

・「需要と供給のバランスのくずれ、職人不足が全てです。売上伸ばしても仕事が間に合わない。」

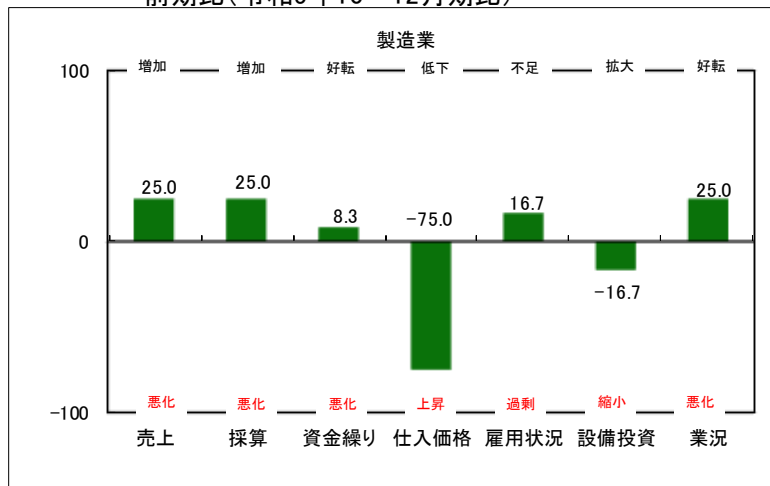
業種別景気動向

製造業

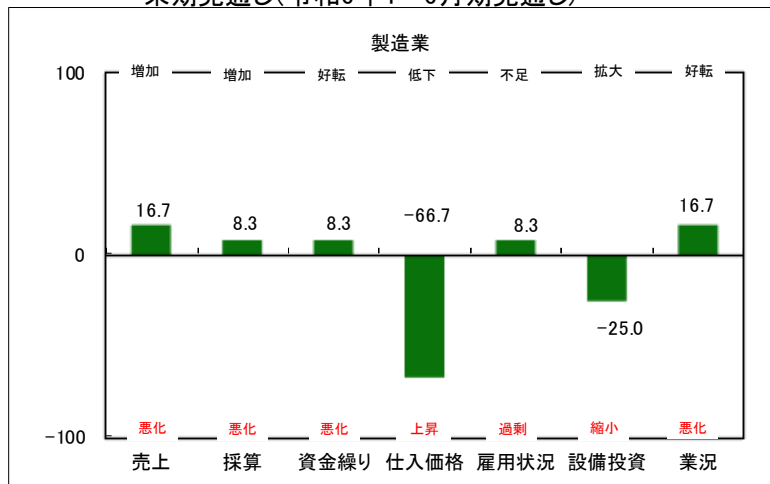
前年同期比(令和5年1~3月期比)



前期比(令和5年10~12月期比)



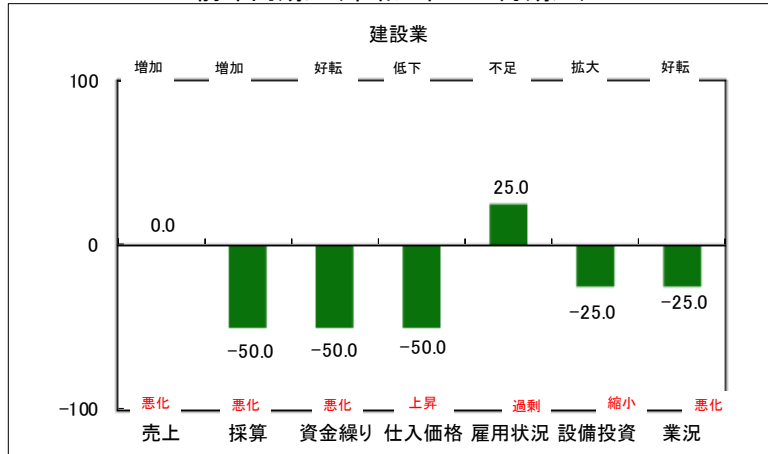
来期見通し(令和6年4~6月期見通し)



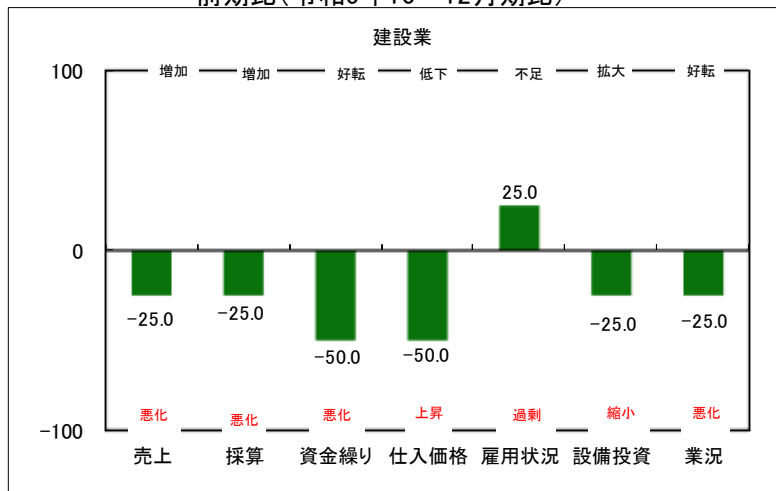
業種別景気動向

建設業

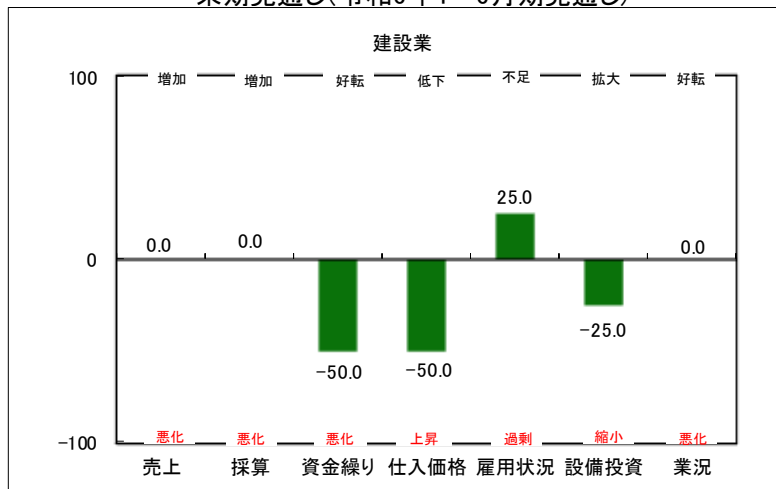
前年同期比(令和5年1~3月期比)



前期比(令和5年10~12月期比)



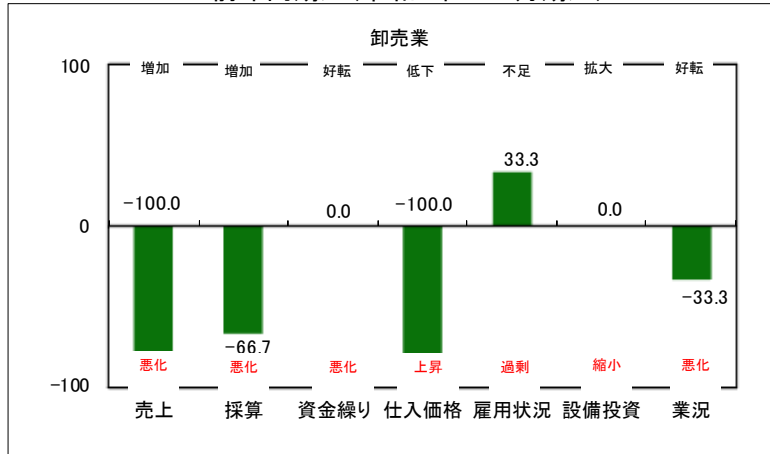
来期見通し(令和6年4~6月期見通し)



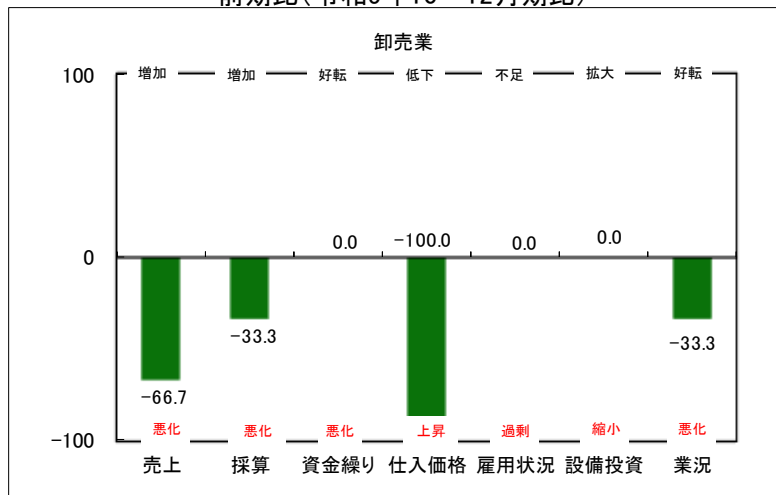
業種別景気動向

卸売業

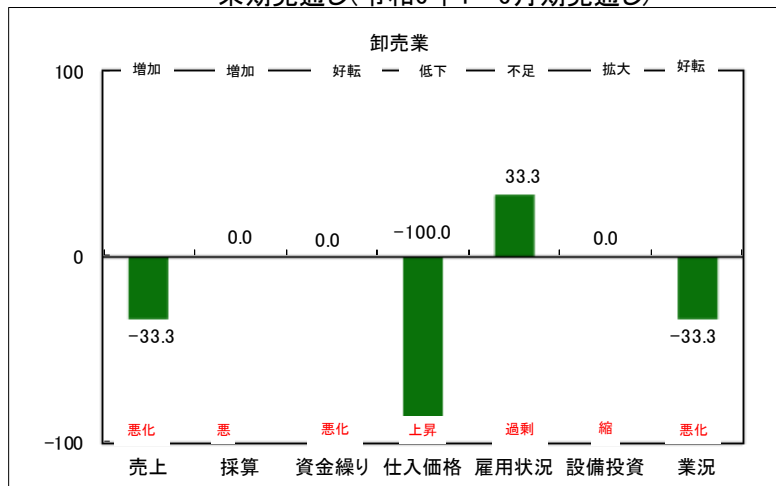
前年同期比(令和5年1~3月期比)



前期比(令和5年10~12月期比)



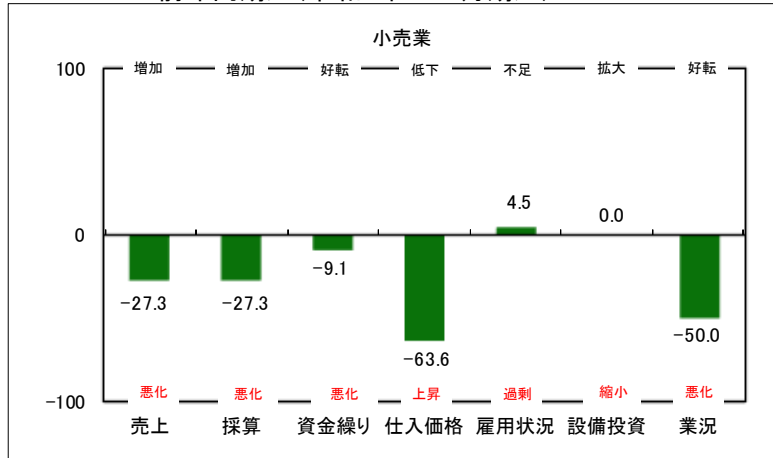
来期見通し(令和6年4~6月期見通し)



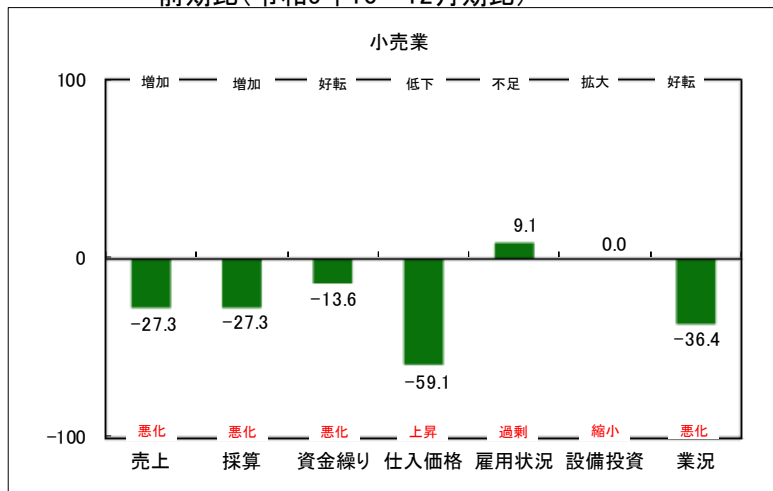
業種別景気動向

小売業

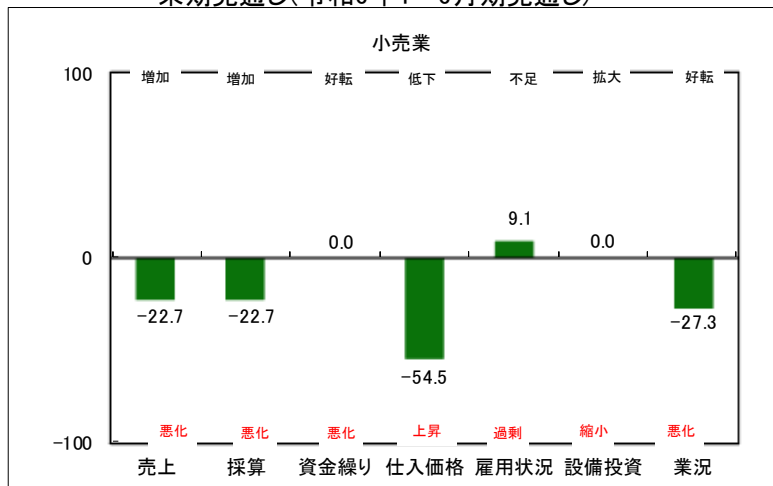
前年同期比(令和5年1~3月期比)



前期比(令和5年10~12月期比)



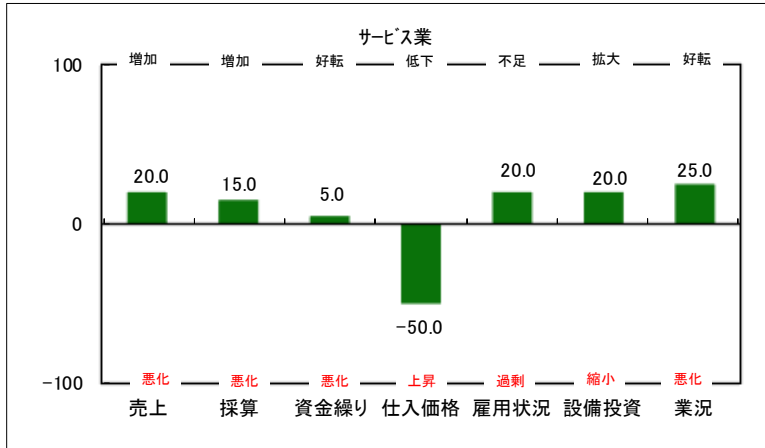
来期見通し(令和6年4~6月期見通し)



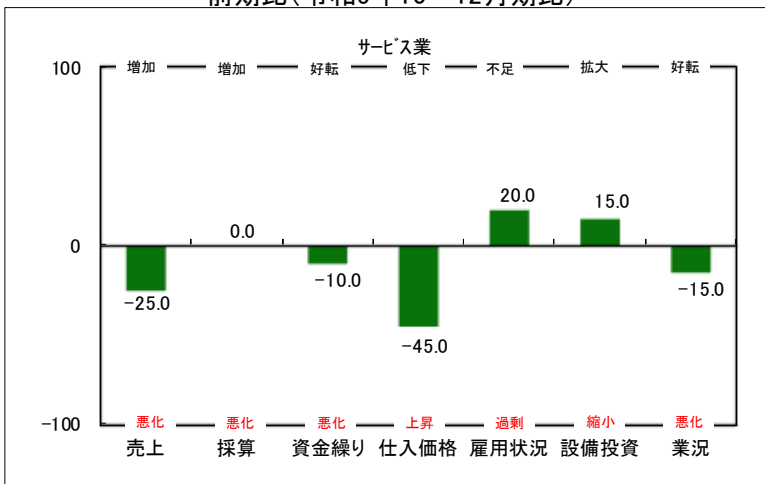
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和5年1~3月期比)



前期比(令和5年10~12月期比)



来期見通し(令和6年4~6月期見通し)

